Version 1.　2020年11月27日作成

情報公開文書

乳腺外科 Cadaver Workshop の開催

1. 研究の目的と意義について

乳腺外科では、乳癌を始めとする乳腺疾患の方々に対して、根治性と安全性を維持しながら整容性を向上させることを目指して、手術による治療を行っています。個々の乳腺外科医が高い技術で手術を行うためには、トレーニングによる手術手技の向上が非常に重要です。また、最新の知見にもとづく新しい手術手技や、高難度手術への実施にあたっては、実際の手術の前にシミュレーションを行い、安全性や確実性を検証する必要があります。

2. 研究の方法と期間について

京都大学医学部クリニカルアナトミーラボ(CAL)プログラム(倫理委員会承認番号:R1785、献体を用いた医師･医療従事者の教育･研究プログラム)に基づいて提供いただいたご献体を用いて、乳腺外科に関する手術手技教育を行います。当病院の倫理委員会による承認日より2024年3月31日までを研究期間としています。 1年間に6〜10献体の想定のもと、研究期間内に合計40献体について予定しています。

3. 情報の利用目的･利用方法について

得られた情報は、解剖学的な知識や手術手技の向上を目的とした研究資料として使用します。プライバシーに十分配慮した上で(下記項目 5)、専門学会や学術雑誌に発表する場合があります。

4. 研究の倫理審査、利益相反について

この研究は、研究対象者の方の人権が保護されているか、また安全性および科学性に問題がないかについて慎重に審査され、京都大学大学院医学研究科･医学部及び医学部附属病院医の倫理委員会の承認および、京都大学大学院医学研究科長および京都大学医学部附属病院長の許可を受けています。本研究は運営費交付金･奨学寄附金により実施します。また、本研究は、特定の企業からの資金提供を受けておりません。臨床

研究の実施にあたり、利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。

5. プライバシーの保護について

得られた情報は、プログラムの成果として専門の学会や学術雑誌に発表されることもありますが、研究対象者の方のプライバシーには十分に配慮し、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。また、写真等の情報を用いる場合も、個人が特定されることがないよう慎重に配慮いたします。

6. 研究終了後の結果の取り扱いについて

得られたデータは、プログラム参加者にて保管されますが、個人情報漏えい等が起こらないように細心の注意を払います。

7. 資料の入手･閲覧、提供の停止について

他の研究対象者の個人情報保護や研究の独創性の確保に支障のない範囲内で、この研究に関する資料を入手･閲覧することができます。また、研究対象者またはその代理人の方の希望に応じて、得られた情報の利用や提供を停止することも可能です。ご希望がありましたら、担当医師にご連絡下さい。

8. 連絡先とお問い合わせ先

何か分からないことや心配なことがありましたら、下記の担当医師か相談窓口にご連絡下さい。

■京都大学医学部附属病院 乳腺外科 担当医師 川島雅央
TEL: 075-751-3613 FAX: 075-751-4340

■京都大学医学部附属病院 相談支援センター
TEL: 075-751-4748 E-mail:ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

9. 研究機関および研究責任者

研究機関　京都大学医学部附属病院　乳腺外科
研究責任者　戸井雅和
個人情報管理責任者　川島雅央